

『国立江田島青少年交流の家 オープンデー2024』実施報告書

1、概要

- 事業趣旨 地域ぐるみの「体験の風をおこそう」推進運動の一環として、国立江田島青少年交流の家を地域に開放し、施設と地域の協力団体が一体となって、様々な体験活動を提供する。子どもたちや地域の人々に活動を体験してもらうことを通して、体験活動に取り組む機運を高めるとともに、身近に利活用できる施設としての魅力を広く発信する。
- 協力 大柿自然環境体験学習交流館(さとうみ科学館)、沖山工房、一般社団法人広島湾地域資源ネットワーク(広島ベイネット)、一般社団法人モクプニパドリングクラブ、瀬戸内いとなみ舎合同会社、ラボ・オルカ、コンパスグループ・ジャパン株式会社 江田島店
- 期 日 令和6年11月17日(日)
- 参加者数 341名

2、活動内容

当施設の魅力を広く発信することをねらって、施設の特徴あるプログラム、地域の人材を活用したプログラム等、計14のプログラムを実施した。

A 「江田島体験」プログラム	「自由に体験」プログラム
<ul style="list-style-type: none"> □親子ふれあいカッター □ビーチクラフト(海辺の漂着物を材料としたキーホルダーづくり) □わくわく科学実験 □スイーツづくり □オリーブクラフト □江田島クラフト(キーホルダー、ランチョンマット、オリジナル木箱づくり) □江田島焼(陶芸体験) 	<ul style="list-style-type: none"> □なんちゃってカヌー体験(陸上でのカヌーの模擬体験) □カラーリング&カプラ □グラウンドスポーツ(ディスクゴルフ、グランドゴルフ) □水晶山登山・どんぐり広場遊び □わいわい広場(室内遊具を設置した自由遊びスペース) □キッズスペース □遊びリンピック(ペットボトルタワー、紙ちぎり伸ばし等)

3、参加者の様子



4、成果と課題

- 予算削減の関係で、若干規模を縮小する形で実施したが、昨年度を100人程度上回る約340人の参加があり、全体として盛況のうちに終えることができた。
- 「体験の風をおこそう」運動推進の協力団体と協同して実施することができ、団体からも運営に対する高い評価を受けることができた。
- ボランティアは例年より少ない人数での運営となったが、その分一人一人のボランティアが主体的・意欲的に活動する姿が目立った。指導者養成という面で非常に有意義であった。
- 施設の魅力を広く発信するという事業趣旨に沿って、数多くのプログラムを提供しているが、職員体制的にギリギリの状態での運営となっている。不測の事態に備えるためにも、プログラムを精選する必要がある。
- 開会直前の時間帯に来場が集中するため、受付待ちが発生し、プログラムの開始に間に合わない参加者がいた。受付では、保険料等の収受をおこなう必要もあり、現在のやり方ではどうしても処理に一定の時間がかかってしまう。スムーズにプログラム参加できるよう、受付方法については簡略化する必要がある。

